

神への信頼を新たに

主任司祭 高木 健次

私が神学生だった頃は、御心の布教姉妹会という修道会のシスターたちが色々な面で神学校を支えて下さっていました。食事も担当のシスター2人がいつも作ってくれていました。シスターたちの愛情のこもったおいしい料理を毎日たくさんいただいていたいました。先日久しぶりに神学校を訪問し、夕食も神学生や指導の神父様たちといただきましたが、今はもうシスターたちが作ってくれるのではなく、業者に委託されており、量も内容も健康に配慮されていることはわかりましたが、神学生たちはちよつとかわいそうかなと、余計なことを感じてしまいました。まあ神学生の平均年齢も以前に比べれば高くなっているのでもちよいと良いということなのかもしれません。実際私たちが神学生だった時には、もちろん神学校の食事のせいではなく、私たちの自己管理の問題なのですが、毎年の健康診断でお世話になっている桜町病院の先生から、担当の神父様にご注意を受けるほど集団としての肥満傾向が高かったのです。私も、もう少し体重を落とした方がいいですね、と入学

二年目の健康診断で言われました。それから近くにある区民体育館の室内プールで一時間ほど泳ぐようになりました。だんだん凝ってきて、多い時では司牧実習で教会に行く土日以外の週5日行っていたりしました。それで一年もたつと健康的な様子になってきたので、何人もの神学生から、プールについて聞かれるようになりました。私が変わっていったのを見て、自分も行ってみようと思ったのでしょうか。善いものは自分自身の変化を証拠として周囲に広がっていくという、宣教の原理を体験したような気がします。肝心の福音宣教もこうであつたらよいのですが・・・心は体の変化のように簡単には表れない、というのはいしずえです。実は、信仰によって変えられていくということに未だに半信半疑な自分があります。まもなく復活祭を迎えます。この機会に、自分の中から湧いてくる疑いではなく、イエス様を通して「お前はわたしの子、今日、わたしはお前を生んだ」(詩27)と絶えず呼びかけてくださる神様の恵みへの信頼を新たにしたいと思います。